

横浜市学薬ニュース 2015.10

気温が下がり、ウイルスの流行が心配な季節となりました。手洗い・消毒などの学校薬剤師関連の情報提供をいたします。

～教職員の方にお渡ししたり等ご活用ください。 横浜市学校薬剤師部作成～

1.横浜市禁煙支援薬局事業研修会

7月25日に行われた研修会では、山形県学校薬剤師の加藤先生による「喫煙防止教室の進め方」の講演がありました。対象者にただ話すだけではなく、喫煙が体にもたらす悪影響を理解しつつ、喫煙防止のためのたくさんの工夫をされていることが解り、これは薬物乱用防止教室にもつながることだと思いました(一例です)

①タバコの煙はどれくらい広がるか？

大きなタバコを作り、ひも(7m)をつけて生徒に持たせ、生徒の頭の上を通して広がりを実感させる。

②喫煙している肺の模型

汚い肺を実際に見せる(各区役所にあり貸出可能)

③「Smoking Time Machine」

自分の顔を撮影すると、タバコを吸い続けた場合に20年後自分の顔がどのように変化するかを示してくれるアプリ。肌のたるみや深いしわに顔色の悪さと、ショッキングな20年後の自分の顔が映し出されます。

(スマホの無料アプリをダウンロードして使う。)



でも、一番大切なのは最初の自己紹介。まずは自分をいかに最初アピールするかでその講演の50%は決まってしまうそうです。

(難しいですね)

2.手洗いについて

小学校、中学校でも液体ソープが高いので固形石鹸を使っているところが多いと思います。

「これって本当にきれい？」と思った事はありますか。ある学校の保健委員と養護の先生が行っている事を紹介します。1週間に1度(金曜日)ネッ



トに入った石鹸を全部集めてきます。それを全部出し、ネットは洗濯して乾燥、石鹸は適当な大きさごとに固める。翌週に配置する。

これからの時期インフルエンザの予防に手洗い・うがいが必要になってきます。保健委員会等でしっかり手洗いができているかを確認するために手洗いチェッカーをご利用ください。

横浜市薬剤師会事務局にありますので、貸出依頼は学校薬剤師からお願いします。

【市薬事務局 ☎045-761-7840】

3.ノロ等のウイルスの消毒について

寒くなってくるとノロウイルスの感染症が流行ってきます。学校によってはいち早く消毒するためにペットボトルに次亜塩素酸を入れて用意して置いておくところがあります。学薬の皆さんはご存知と思いますが、次亜塩素酸は透明のペットボトルに移し変えると2週間ぐらいでその効果が無くなってしまいます。そのため、消毒薬の空き瓶に1回分の消毒薬と新聞紙2～3枚を準備しておき、嘔吐があったら水を入れてすぐ使えるようにしておく便利です。

あまり嘔吐の消毒がない中高等学校には希釈する消毒薬ではなくすでに希釈され「ジアクロール」という消毒剤が市販されています。これは有効期限が1年間、開けてしまっても1シーズンは使えるそうです。



4.ホルムアルデヒド検査について

教育委員会施設課からホルムアルデヒドの検査キットが送られてきている学校があると思います。これは学校職員が検査し、試験センターに送りかえすことになっています。

学薬は検査結果の指導・助言だけを行ってください。来年度、教育委員会に実施状況を聞き、各学薬に情報提供いたします。